

明日に向かって

報告リポート No.65



工藤 兼光
ホームページ
はちらから

齋藤鉄雄、国土交通大臣に要望書を手渡す建設委員会



12月定例会も終わり、国への要望活動の時期になりました。

衆議院、津島淳県連会長や木村次郎代議士等のご同行を頂き、各地区選出8名の全員、「今回の要望、いわば青森県の総意だ」と津島代議士が切り出す、そして要望書を手渡し、内容を説明する、大臣室、頂いた時間10分は厳しかった、その中で津軽道と、日本海沿岸道路、深浦旧岩崎能代まで災害に強い街づくりの為にも、と強く要望いたしました。

「国土交通省へ要望活動」 長澤県土整備部長、類家次長と最後の打ち合わせ



要望内容は、地球環境が大きく変わり、毎年のように日本どこかで災害が発生する、その為に備える防災減災国土強靭化、及び持続的な経済成長の実現等に必要な予算の確保、「国土強靭化実施中期計画」を早期策定し、必要な予算、財源を別枠での確保、今後老朽化割合が急速に高まる社会インフラを適切に維持管理、更新していく為の予算、財源を措置する事。物価高騰に伴い、資材価格等が上昇している中でも、必要な事業量を確保するための予算を増額する事。災害発生時の迅速かつ円滑な自治体支援等の為の人員体制や資機材の充実、強化を図る事。など大きく分けて5項目についての要望となりました。

青森県議会議員

工藤 兼光

皆様のご意見、ご要望をお寄せください。

〒038-2712 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字長平町字甲音羽山59-2
TEL 0173-72-1224・FAX 0173-72-1233

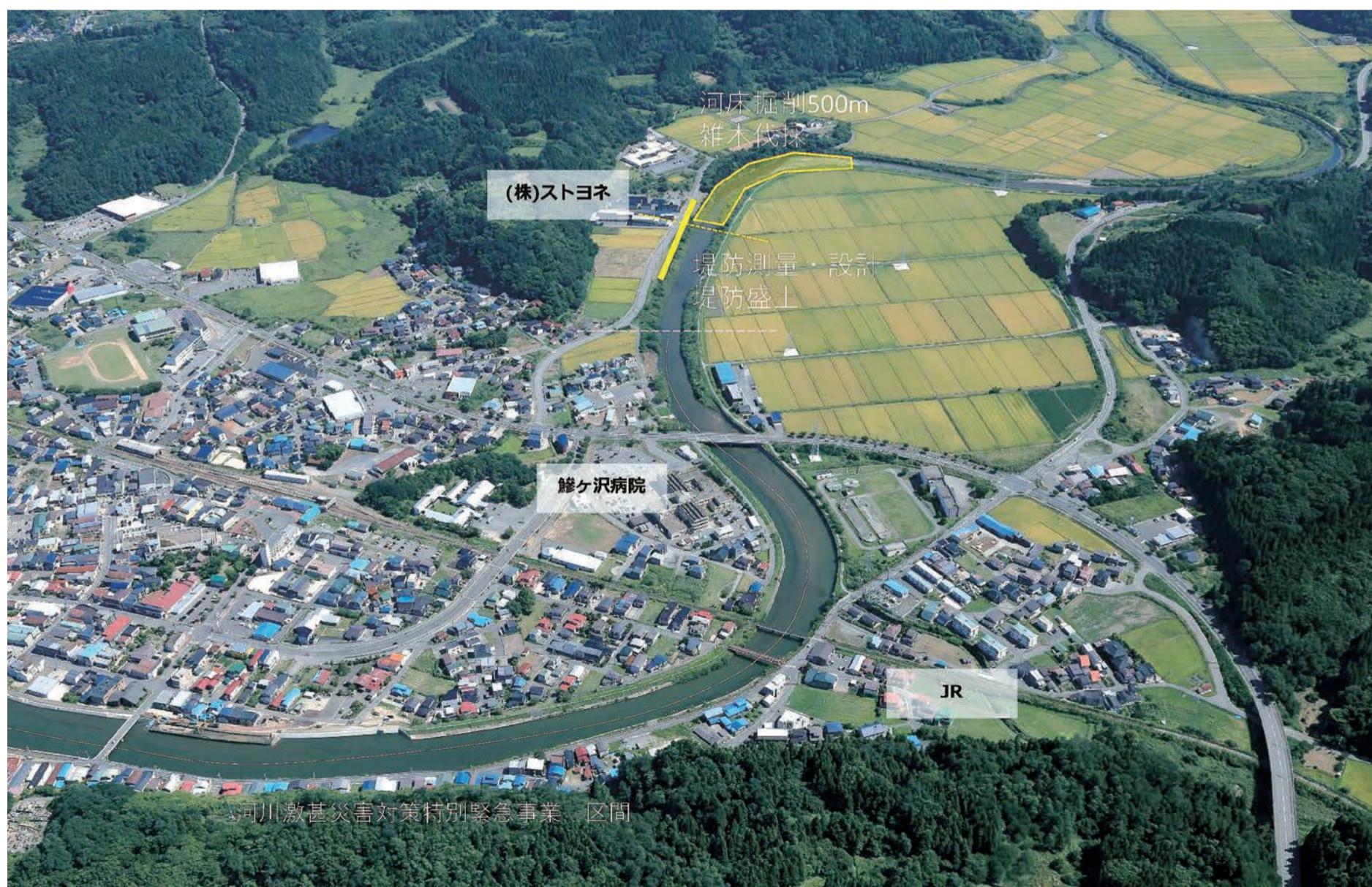
討 議 資 料

河川激甚災害対策特別緊急事業

令和4年8月3日から9日にかけての大霖による、舞戸町を流れる中村川が氾濫し、舞戸町住民の、床下浸水や床上浸水等、農林水産業までも甚大な被害が発生しました。地球環境が大きく変わり、災害復旧に加え、新たな対策が必要と、平田衛町長は県や木村代議士、流域の関係者達連携し、中村川流域治水緊急対策をスタートさせました。



河川激甚災害対策特別緊急事業 中村川上流部





「防災減災、災害を未然に防ぐ為に、地域住民の声が不可欠」

地球環境が大きく変わり、災害は毎年のように、日本どこかで起きている、昔は、「災害は忘れたころにやって来る」と言っていたが、いつの間にか災害は忘れないうちにやって来る、今では災害は毎年やって来る、が今の時代にあってはいる様であります。従って町と県と地域住民と連携を密にして災害を未然に防ぐ、つまりは防災、そして減災、災害に強い街づくりを進めて行かなければなりません。その為に私達も常に巡回点検はしているものの、地域住民の声がとても貴重であります。



令和5年度高規格道路建設及び 道路整備促進青森県総決起大会

毎年この時期に、青森県高規格道路建設促進期成会、青森県道路整備促進期成同盟会が主催し、参集者は、青森県知事、国会議員、県議会議員、市町村長、国土交通省、関係諸団体等、沢山の方々が一堂に会し総決起大会が行われました。倉光弘昭つがる市長が、決議文を読み上げる、頻発する大災害の被災地では高規格道路は、まさに「命の道」としての役割を果たしている、と切り出す。そして

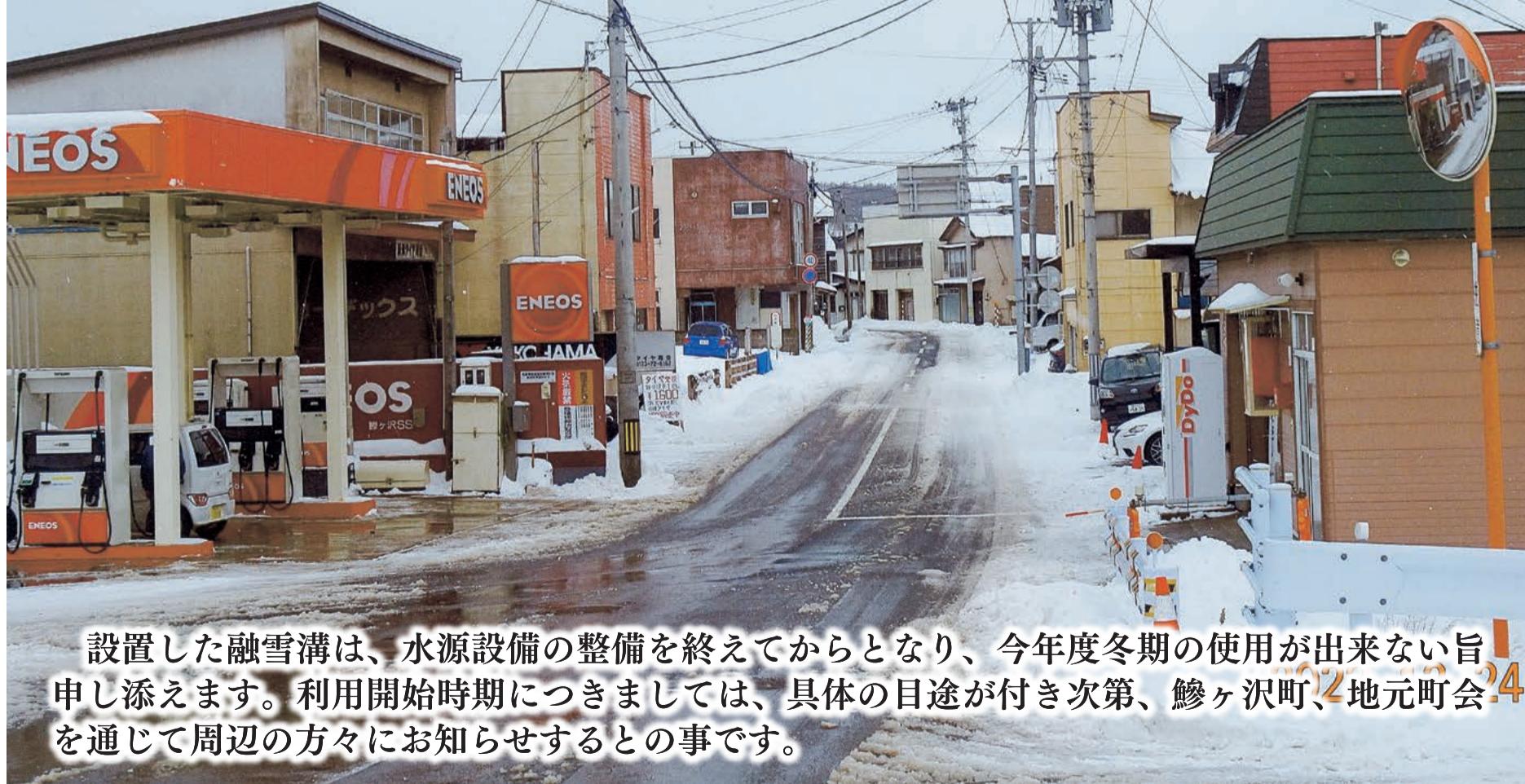
「防災、減災、国土強靭化」を図るための予算確保、津軽道の「柏浮田道路」の早期の全線供用を図る事や、日本海能代沿岸道路の重点的な支援を図る事、等々を満場一致で決議し閉会しました。この様に市町村や、県議会、県土整備部、各種団体と連携を密にし、木村代議士と共に予算獲得に全力で頑張り続けます。



国からの予算確保に全力を尽くす、と挨拶する
衆議院議員 木村次郎
(令和5年11月27日アラスカ会館青森会場で)

田中町から七ツ石町の融雪溝について

雪国の地域住民の悲願である融雪溝については、現在工事発注済みであり、施工内容は、流末となる田中町側から140メートル程度の融雪溝の設置着手となっておりますが何分冬期積雪が多い事から、施工時での現道交通を考慮し、降雪が少なくなる3月頃から本格着手となる見込みですので、ご理解の程よろしくお願ひ致します。



設置した融雪溝は、水源設備の整備を終えてからとなり、今年度冬期の使用が出来ない旨申し添えます。利用開始時期につきましては、具体的な目途が付き次第、鰺ヶ沢町、地元町会を通じて周辺の方々にお知らせするとの事です。

道路の整備等に関する国土交通省等との 五県合同意見交換会(青森県、秋田県、山形県、新潟県、福島県の5県)

この会合は令和5年11月13日、東京で行われました。青森県からは議長と、建設委員会 委員長の私と2名の出席であり、各県合わせて15名、国土交通省からは国道事業調整官、安谷覚氏、東北地方整備局道路部長、木村康博氏、東日本高速道路株式会社建設部長等の出席を頂き講演してくれました。その後、意見や要望を述べる事になっています。私からは日本海沿岸東北自動車道に接続する「柏浮田道路」の早期完成と、昨年8月と今年7月の豪雨により国道101号で2年連続の広域な迂回が生じ、防災の観点からも西津軽能代沿岸道路の必要性を強く要望しました。



各県からの集い、時間を有効活用する為、 昼を食べながらのフリートーク

先を越されないように手を挙げ、津軽自動車について補足した、この道路は木村守男衆議院時代の平成2年に事業化、同3年には工事着工する、しかしこのころから時代の経済は大きく変わり進捗率は今に至る、決して早いとは言えない、残る12.3キロスピード感をもって取り組んで頂きたい、とそして能代沿岸道路もまた災害に強い街づくりの為にも、と呼び続けて40年、よろしくお願い致します、と結びました。



1年に1度の県外調査、岡山県、兵庫県の3日間、倉敷美觀地区、真備緊急治水対策プロジェクトの取り組み、(株)ワールド・ワン青森県の食材の活用についてなどについて調査、ここでは、三宮駅周辺地区、まちなかウォーカブル推進事業の取り組み調査です。



真備緊急治水対策プロジェクトの取り組み

平成30年7月5日から7日にかけて梅雨前線の影響により断続的に激しい雨が降り高梁川や小田川流域では、観測史上最高水位を記録この為小田川支川を含む8か所で堤防が決壊しました。この事により介護施設、病院、学校等が浸水し、浸水深は最大で5メートルにも達したと推定され、倉敷市真備町では浸水被害1200ha、浸水戸数約4600棟の甚大な被害が発生しました。この事により集中的に実施する河川改修事業、概ね5年間、総工事費500億とも600億とも言われていて5年度の完成目指す。

この地区は、江戸時代初期から物資の集散地として発展した歴史を持ちその頃からの美しい街並みが残されていて、この街並みを美觀地区に指定し、歴史的建造物など保存しつつ、近年のバリアフリー化など、すべての人々が住みよい街とするための取り組みは、弘前市など、歴史的建造物が多く存在する本県においても、大いに参考になるものと思います。



「中村川流域治水対策」

10月5日県農林水産部主催、東京の住宅会社の支援を受けて、平田町長はじめ、森林組合、舞戸小学校4年生児童、鰺ヶ沢町商工会、つがるにしきた農業協同組合、舞戸地区町内会連合会、中村地区町内会、など沢山の方々のご協力のもと、あいにくの雨天にも関わらず中村地区で植樹行事が行われました、ご苦労様でした。

これは令和4年8月9日の大雨による中村川の氾濫被害からの復興に向けて、流域治水緊急対策メニューが示されました。その目標の1に、「雨水、土砂流出の抑制」があります。

その中に森林整備があり、造林、保育など、そして小規模伐採や複層林などなど多様な森林整備が掲げられています。スピード感をもって取り組む県担当部に感謝し、何よりも支援頂いた住宅会社に、ご協力頂いた地域の方々、関係諸団体の皆さんにも感謝いたします。そしてこれからも平田町長や、県、木村代議士達と連携し、地域住民のご協力を頂きながら災害に強い地域づくりに頑張り続けます。



「植樹行事終了後集合写真に収まる」

雨の中カッパを着ての作業 特に4年生の皆さんご苦労様でした。



森林の機能を維持、向上していく為には、私達大人だけでなく、未来を担う子供達にも森林の働きを知ってもらう事が大切だといいます。森林は8つの機能を果たしていて、①に「水を蓄え、水害を防ぐ」②「土壤の流出や土砂崩れを防ぐ」③「二酸化炭素を吸収し、地球温暖化を防ぐ」④「生き物のすみかや生態系を守る」⑤「音や風などを防ぎ、快適な生活環境を作る」⑥「健康増進や気分転換に効果的」⑦「行楽や芸術の対象として」⑧「木材やキノコなどを生み出す」等の公益的機能を果たしていくお金に加算すると、約70兆円とも言われています。

問2 青森県物価高騰緊急対策本部の対応について

(1) 物価高騰の影響に関する県の認識と取組状況について伺いたい。

答

1. 現在の物価高については、ウクライナ情勢に端を発した国際情勢の変化に伴うエネルギー等の価格高騰が長期化しているほか、今後も、為替の変動等の影響が複合的に重なることなどにより、生活や事業活動への影響が続いていることが懸念される状況にあると認識しています。

2. 県ではこれまで、青森県物価高騰緊急対策本部を開催し、生活者団体や事業者団体、各市町村長の皆様から頂いた意見や要望等を踏まえ、「子育て世帯の暮らしへの支援」「物価高騰に対応可能な事業構造への転換等支援」「市町村が行う物価高騰対策への支援」の三つの柱からなる物価高騰対策を取りまとめの上、9月補正予算で措置し、現在、庁内関係部局及び各市町村において取組を進めているところです。

3. 県としては、引き続き積極的な情報発信を行い。支援が県民や事業者の皆様に行き届くようにするとともに、市町村や関係機関と連携しながら、全庁一丸となって、効果が最大限発揮されるようスピード感を持って物価高騰対策に取り組んでいきます。



十和田市選出 自由民主党
田中 順造 議員

鰺ヶ沢町社会福祉協議会中村町支部、一戸とも子会長他21名
議会傍聴と、県と、地域住民の距離を縮める為に知事室に立ち寄る。

青森県議会12月定例会、一般質問初日の29日、十和田選出の田中順造議員の質問を傍聴されました。参加者皆さんのお話によると、質問、持ち時間30分の間に20項目位の質問されたと思う、その中で、物価高騰緊急対策や、力強い農林水産業の実現に向けた今後の方向性についてや、本県の観光振興についてなどに、多



鰺ヶ沢町社会福祉協議会中村支部（知事室にて 2023.11.29）

く关心が寄せられたとの事であります。そして知事と合意、人口減少の中にあって福祉向上についても話すことが出来た、と話してくれた参加者の皆さんはこの後、赤十字社青森支部で災害時の防災の取り組みなどを勉強されたとの事でした。